

学習課題

ボールマンに対する体の向きをミニゲームを通して実践してみよう!

本単元で育成する資質・能力

主体性、コミュニケーション能力

1 日 時 令和7年10月17日(金) 13:30~14:20

2 学 年 第1学年1組 合計33名

3 場 所 体育館

4 単元について

○ 単元観

本単元は、学習指導要領保健体育編 領域【E 球技】を基に設定されている。球技はゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる内容である。

本単元のバスケットボールは、球技の中でも「ゴール型」として位置づけられており、ドリブルやパスなどのボール操作で相手コートに侵入し、シュートを放ち、一定時間内に相手のチームより多くの得点を競い合う競技である。

小学校では、「ゲーム」と「ボール運動」で簡易化されたゲームでルールを工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てたりして攻防を展開できるようにすることをねらいとした学習に取り組んでいる。中学校第1学年及び第2学年では、これらの学習を受けて、基本的なボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができるようになることが求められる。また、バスケットボールの学習に積極的に取り組み、フェアなプレーを守ろうとしたり、作戦などについての話し合いに参加しようとする意欲を持たせることも必要である。さらに健康や安全に気を配るとともに、技術の使い方や練習の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫する活動が設定できる単元である。

○ 生徒観

本学級では、比較的落ち着いた生徒が多く、授業も静かで集中しやすい環境で取り組むことができる。生徒の客観的な実態を把握するために、生徒アンケートを実施した。

表1

	肯定的な回答		否定的な回答	
	とても	やや	あまり	全く
体育の授業は好きですか?	5 1. 6%	3 2. 3%	1 2. 9%	3. 2
バスケットボールは好きですか?	6 1. 3%	2 2. 6%	9. 7%	6. 5%

表2

体育の授業は好きですか?に関する記述
<ul style="list-style-type: none"> ・球技が好きだから ・体を動かすのが好きだから ・運動ができないから、試合の時に迷惑をかけてしまうから ・運動が苦手だから

バスケットボールの授業は好きですか？に関する記述
<ul style="list-style-type: none"> ・シュートが入ったとき楽しいから ・みんなと協力してパスを回して、勝負するのが楽しいから ・うまくシュートができないから ・ルールがよくわからないから

表1より、「体育の学習が好きだ」に肯定的な回答をしている生徒の割合が高いことが分かった。また、表2より、「バスケットボール(球技)は好きだ」に肯定的な回答をしている生徒の割合も80%だったが、30%の生徒は苦手意識があることがわかった。

「バスケットボールの得意なプレー」の回答では、パスと回答している生徒の割合が多く、ディフェンスと回答している生徒の割合が少ないことがわかった。

表3

バスケットボールの得意なプレーを教えてください。	シュート	ドリブル	パス	ディフェンス
	26.7%	26.7%	43.3%	3.3%

表3より「バスケットボールの得意なプレー」の回答では、パスと回答している生徒の割合が多く出た。アンケートでは、「強いパスができるから」「相手に正確に届けられるから」などパスに対して得意意識がある生徒が多かった。

表4

バスケットボールの苦手なプレーを教えてください。	シュート	ドリブル	パス	ディフェンス
	41.4%	17.2%	13.8%	27.6%

表4より「バスケットボールの苦手なプレー」の回答では、シュートやディフェンスに課題を感じている割合がたかかった。アンケートでは、「シュートが入らない」「届きそうで届かない」や「あまり得意ではない」などの意見が多くあった。

表5

	肯定的回答	否定的回答
体育の授業では自分や仲間の課題を発見することができる	93.6%	6.5%
体育の授業では、自分の考えたことを仲間に伝えることができる。	83.9%	16.1%

表5の結果から、体育の授業では自分や仲間の課題を発見でき、そのことを仲間に伝えることもできていると考えている生徒がほとんどであった。肯定的な回答の理由として、「周りの上手な人を見ることで、自分の良くなかったところを見つけられるから」や、「自分の意見に自信が持てるから」などがあつた。

表6

	グループワーク	クロームブックの活用	ワンダフルスポーツの活用
技能向上に向けて効果的だと思うもの	80.0%	16.7%	3.3%

表6の結果から生徒は特に、グループワークを活用した授業が効果的であると感じていることが分かった。

○ 指導観

指導に当たっては、前半でシュートやドリブルで攻撃を重視した練習を行い、その中でパスなどの連携した動きを入れ、チームプレーができるようにする。しかし、アンケートの結果からディフェンスに対して得意と感じている生徒は3.3%苦手と感じている生徒は27.6%と高いことが分かった。そのことからディフェンスの大切さや楽しさを生徒に気づかせられるようにする。また、グループ活動やICT 危機の活用を通して、知識の定着と思考の時間を十分に確保し、生徒の理解を図っていくようにする。

本時では、指導にあたっては、バスケットボールを通して、オフェンスやディフェンスで意図的な動きのあるゲームをすることの楽しさを味わわせるために基本的な技能（ボール操作、ボールを持たない時の動き）の習得をさせたい。基本的な技能の習得のみならず、知識を活用してプレーすることを意識させることで技能を身に付け一層知識を深めたりするなど、知識と技能を関連させて学習さ

せたい。また、バスケットボールはチーム競技であるが、個人の動きがチームに大きく関わる。グループ活動を通して、チームでの成果と課題を考え、自分がチームのためにどんなことが必要か考えさせたい。仲間と教え合ったり、助け合ったりして仲間とともに活動することの楽しさを味わわせたい。また、バスケットボールが苦手な生徒やアンケートで出た、「試合でみんなに迷惑をかける」と回答した生徒でも楽しく、できたと思えるように、練習方法を複数用意し自分に合った方法を選択できるように選択枠を広げたい。そのため、以下の2つのことに取り組んでいく。

1つ目は、オフェンスやディフェンスで意図的な動きができるようになるために、ボール操作だけでなく、ボールを持たない時の動きのポイントをワークシートに記述させ、技能の具体的な知識も習得させる。生徒の実態としてオフェンスに対して課題意識を持っているが、ディフェンスに目を向けさせたい。ディフェンスの技能を高めることで、どのように攻めていくか、相手のディフェンスを崩すためにどうすべきかなど、オフェンスに対してより深い学びをさせたい。

2つ目は、クロームブックを活用し、グループワークで分析し、基本的な技能の習得につなげる。自分自身の動きをカメラで撮り、仲間と分析することで、個人で解決できなかった課題をグループで解決させていきたい。その際に、グループワークでの話し合い活動（自分の動きを分析する活動）を主体的で深い学びを引き出すためにポイントとなる視点を絞って提示する。またプロの選手の動きと自分自身の動きを比較させ、正しい動きのポイントを意識させたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 （自己を認識する力、自分の人生を選択する力）	コミュニケーション能力 （表現する力）		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、大きくすることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	
レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながら大きくすることができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。	
レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	
レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、（大人の力も借りながら）自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 単元目標

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や技術の名称、行い方などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。
 ア ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防ができるようにする。 【知識・技能】
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【思考・判断・表現】
- (3) 球技に積極的に取り組むとともに、作戦などについての話し合いに参加しようとする事、仲間の学習を援助しようとする事や、健康・安全に気を配ることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】

7 評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
○知識 ①バスケットボールには、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出すことができる ②バスケットボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げることができる。	○技能 ①ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできる。 ②得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。 ③パスを受けるために、ゴール前に空いている場所に動くことができる。 ④ボールを持っている相手をマークできる。	①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、自他の課題や出来映えを伝えている。 ②仲間と協力する場面で分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。	①球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ②作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ③練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。

8 指導計画（全10時間）

教科・領域の本質的な問い

バスケットボールの楽しさとはなんだろうか。

時間	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">学習課題</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ねらい</td> </tr> </table>	学習課題	ねらい	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
	学習課題						
ねらい							
指導内容							

1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学習課題：バスケットボールってどんな競技だろう？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ねらい：バスケットボールの授業への意気込みをきる。</p> </div> <p>バスケットボールの流れやルール、基本用語、評価を理解させる。単元を貫く問いの設定により、学習の見通しをもたせ、学習への取組み方を書かせる。</p>	態・知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールの流れやルール、基本用語、評価について、理解する。 ・試しのゲームをする。 	バスケットボールの流れやルール、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">バスケットボールのルールを覚え試合ができるようになろう。</p> <p style="text-align: center;">～オフェンスとディフェンスの動きを覚え攻防ができるために必要なポイントはなんだろう～</p>					
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学習課題：どんなパスが必要だろうか？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ねらい：ボール操作（パス）の基本的動きを理解し、身良いパスができる。</p> </div> <p>パスのポイントを理解させ、基本的なボール操作の動きを身に付けさせる。</p>	思技	○	<ul style="list-style-type: none"> ・パスのポイントを理解する。 ・トライアングルパス・ツーマン・スリーメンの練習をする。 ・パスのポイントを押さえた4対3のミニゲームを行う。 	バスケットボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて理解している。得点しやすい空間にいる味方にパスを出している。[行動観察]
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学習課題：どんなドリブルが試合で必要だろうか？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ねらい：ボール操作（ドリブル）の動きを理解し、良いドリブルができる。</p> </div> <p>ドリブルのポイントを理解させ、基本的なボール操作の動きを身に付けさせる。</p>	思技	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを見ずに、その場でボールをつける練習をする。 ・コーンなどを用いてドリブル練習を行う。 ・ドリブルのポイントを押さえた4対3のミニゲームを行う。 	バスケットボールにおいて用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて理解している。ドリブルでボールをキープすることができ

					る。〔行動観察〕
4	<p>学習課題：どんなシュートが試合で必要だろうか？</p> <p>ねらい：ボール操作（シュート）の基本的動きを理解し、良いシュートができる。</p> <p>シュートのポイントを理解させ、基本的なボール操作の動きを身に付けさせる。</p>	思技	○	<ul style="list-style-type: none"> ・セットシュートの練習をする。 ・レイアップシュートの練習をする。 ・1対1の練習をする。 ドリブルからのシュート ・シュートのポイントを押さえた4対3のミニゲームを行う。 	ゴール方向に守備者がいない位でシュートできる。〔行動観察〕
5	<p>学習課題：プロの選手と自分の動きを比較して違いを見つけよう！</p> <p>ねらい：自分の課題を見つけポイントを押さえることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディフェンスのポイントを理解させる。 <p>プロと自分たちのディフェンスの違いを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールマン以外のディフェンスの動きのポイントを見つける。 ・ディフェンスのポイントを理解する。 	思判	○	<ul style="list-style-type: none"> ・クロームブックでプロの選手のディフェンスの動き見て自分との違いを見つける。 ・ディフェンスでのポイントを意識しながら練習をする。 ・ボールマン以外のポイントを押さえた4対3のゲームをする 	提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、自他の課題や出来映えを伝えている。〔行動観察・ワークシート〕
6	<p>本時</p> <p>学習課題：20秒間ゴールを守り切ろう！！</p> <p>ねらい：ディフェンスのポイントを理解する。～ディフェンスにこだわりボールとゴールの間に立つことができる～</p> <p>ディフェンスの際に陣地のゴールに背を向けてディフェンスをすることを理解させる。</p>	思技	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ディフェンスでのポイントを意識しながら練習をする。 ・ボールマンの対してのポイントを押さえた4対3のミニゲームを行う。 	動きのポイントを押さえ実践できている。自他の課題や出来映えを伝えている。〔行動観察・ワークシート〕
7	<p>学習課題：日比崎杯に向けて準備をしよう！</p> <p>ねらい：試合に使えるオフェンスやディフェンスをすることができる。</p> <p>これまでのチームの課題を分析し、チー</p>	態		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの練習から選択し、オフェンスやディフェンスの練習をする。 	作戦などについての話合いに参加しようとしている。練習の補助をしたり仲

	ムにあった練習を選び、次の時間から始まるゲームに向けた練習をさせる。				間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。〔行動観察〕
8 9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題：日比崎杯開幕！～優勝をめざせ～</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ねらい：今まで練習したことを活かしてゲームで得点することができる。</div> <p>これまでの練習の成果を出すためにゲームをさせる。ゲーム後にはチームで成果と課題を出させてこれからの取り組みを考えさせる。</p>	態技		<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの練習をする。 ・5対5のゲームをする。 ・チームの成果と課題を考える。 	球技の学習に積極的に取り組もうとしている。〔行動観察〕
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題：日比崎杯最終戦～自分達の取り組んだ成果を発揮しよう～</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ねらい：ボール操作や空間に走りこむ動きによってゴール前で攻防することができる。</div> <p>ゲームを行い、単元の振り返りをさせる。</p>	態技		<ul style="list-style-type: none"> ・5対5のゲームをする。 ・自分やチームでできるようになったことなど、単元の振り返りをする。 	球技の学習に積極的に取り組もうとしている。〔主体性〕

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○ディフェンスに必要な動きやフォーメーションを理解し、知識を活用し正しくプレーできる。

(2) 本時の評価規準と生徒記述の例

○動きのポイントを押さえ実践できる。自他の課題や出来映えを伝えている。

【思考力・判断力・表現力】

生徒の記述例

- ・ボールとゴールの間に立つことができなかった。次は間に立つように意識していきたい。ボールマンに対して体の向きができていなかった。

(3) 準備物

- ・クロムブック・ワークシート・水筒・ビブス・タイム計

(4) 本時の流れ（6時間目／全10時間）

過程	<input type="checkbox"/> 学習活動 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教師</div> と <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">生徒</div> のやりとり	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
----	--	---------------------------------	------------------------------

1 課題設定 10分		
導入	<input type="checkbox"/> あいさつ・呼名を行う。 <input type="checkbox"/> 準備運動・補助運動を行う。 <input type="checkbox"/> 学習課題を確認する。	<input type="checkbox"/> 返事をした際に生徒の健康状態を観察する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">導入の工夫</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題 20秒間ゴールを守り切ろう!!</p> <p>ねらい ディフェンスのポイントを理解する。～ディフェンスにこだわりボールとゴールの間に立つことができる～</p> </div>		
2 課題の探求 10分		
展開・前半	<input type="checkbox"/> 男女別に4人チームのA～Hグループをつくる。 <input type="checkbox"/> 前回の復習をする。 教師 ボールマンに対しての手の出し方はどうだっただろう。 ボールマンに対しての体の向きはどうだっただろう。 生徒 手をしっかり上にあげる。 ボールマンとゴールの間に立っている。ゴールに背を向けている。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ポイント ボールとゴールの間に立ち、ゴールに背を向ける。</p> </div> <input type="checkbox"/> チームで前時までに撮影したディフェンスの動画をみて自分の動きを確認する。 <input type="checkbox"/> ポイントができているか確認する。 <input type="checkbox"/> 動画を見て、前時で行った1対1のゲームでのディフェンスの体の向きを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>WB</p> </div>		
3 課題の解決 [20分]		

<p>展開・後半</p>	<p>□ポイントを理解し、4対3の試合を行う。</p> <p>①試合 4試合×20秒 ↓</p> <p>②良いプレーをしているチームをモデルにし、プレーをみせる。 作戦タイム、意見交換 ↓</p> <p>③試合 4試合×20秒</p>	<p>○20秒間で試合をまわしていく。計8試合 ○1人はクロームブックで試合を撮る。 ※自分の動き見返す。</p> <p>ICTの活用</p> <p>□ルールとしてチーム全員にパスを回す。ディフェンスをするチームはマークする人にボールが来たときにボールとゴールの間でディフェンスをすることができるように指示をする。 ※全員にパスを回すことで守備側も全員ボールマンに対してのディフェンス時の動きができる。 タイマーで20秒計測する。20秒で動画の確認を行う。</p>	<p>積極的にプレーに参加している。〔主体性〕</p> <p>ボールとゴールの間に立つことができる。 〔知識・技能〕</p>
<p>4 片付け・振り返り [10分]</p>			
<p>まとめ・終末</p>	<p>□片付けを行う。</p> <p>□振り返りを書く。 ミニゲームを振り返り、改善したこと、工夫したことを記入し、今後の自分やチームでの取り組みを書く。</p> <p>教師 ボールとゴールの間に立つことができたか、友達に的確なアドバイスができていたか。</p> <p>生徒 ボールとゴールの間に立てた。 ボールとゴールの間に立つのは難しかった。 アドバイスができた。</p>	<p>□グループで協力し、安全に気をつけさせて片付けをするように指示をする。</p>	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	ボールマンに対しての体の向きとして、ボールとゴールの間に立ちディフェンスをすることができ、自分や友達の課題を発見することができる。
C（努力を要する）	ボールマンに対しての体の向きとして、ボールとゴールの間に立ちディフェンスをすることができず、自分や友達の課題を発見することができない。

(5) 板書計画

単元 バスケットボール (球技)

課題 20 秒間ゴールを守り切ろう!!

ねらい ディフェンスのポイントを理解する。～ディフェンスにこだわりボールとゴールの間に立つことができる。

準備運動・補強

- ・スライドステップ
- ・クロスステップ

ボールマンへのディフェンス

ポイント

○ボールとゴールの間に立つ。

1 コート

A B

2 コート

C D

3 コート

E F

4 コート

G H

○5 分間

○スタートは相手からパスで
もらう

○必ず全員にパスをする。

○ボールをとられたり、シュートが入ったり、外にボールがでたら相手チームがセンターラインかスタート